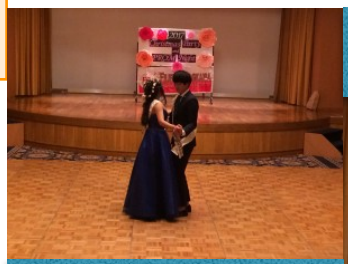
Nagkaisa News

No.9

プロムナイト＆クリスマス会!!

12月17日（日）グランドホテル鶴の間にて、フィリピンの若者を対象にしてプロムナイトパーティが行われました。この日は若者50名、その兄弟や家族、友人が75名、総勢125名の方が集まりました。「プロムナイト」とはフィリピンのハイスクールで行われる卒業をお祝いするダンスパーティーのことです。フィリピンから日本にくることになり、フィリピンでプロムナイトに参加できなかった若者たちに、そのような機会を作ってあげることを目的に行いました。50名の若者によるダンスは大変見応えがあり、10月から練習をしてきた成果が見られました。その後、お食事やダンスやバンドの余興を楽しみ、最後に「プロムキング・プロムクイーン」の発表がありました。あっという間に3時間が経ち、大成功に終えることができました。

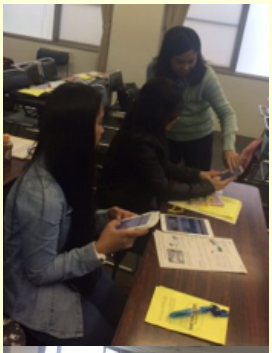
下の写真は、練習の風景です。



プロムクイーン＆プロムキングによるダンス

バンドやダンスの余興もありました。

NPO FN 教室・公開講座



『電子図書貸し出し電子図書を「借りる」～スマホ・タブレットを使って、浜松市の新サービスを利用してみよう～』浜松市がこのたび、楽天と提携して電子図書貸し出しのサービスを開始しました。「図書館に行っても日本語の本しか借りられないのではないか」「土地勘がないので、図書館がどこにあるかわからない」「本を持ち歩くのは重いから嫌」「返却期日に間に合わせて図書館に行くことができない」という方々には朗報です！音声機能では本を読み上げてくれる機能もありますよ。皆さんにこの新サービスを利用してもらうべく、2月10日（土）公開講座を実施しました。 図書館の利用カードを作り、さらに電子図書用のパスワードとIDをもらうことで電子図書を借りることが出来ます。ぜひ皆さんも利用してみてください。写真は2月10日の様子です。　**協力：浜松市立中央図書館**

『お金のはなし～ライフプランを考えよう～』

人生には節目ごとに、けっこうお金がかかるものです。結婚、家や車の購入、子供の教育資金、自身の老後…そこで、「お金のはなし～ライフプランを考える～」という内容での講座を、浜松信用金庫様にお願いいたしました。

ワークシートに、5年後、10年後の年齢や配偶者や子供の有無を書き込んだ後、大きなお金がかかると予想される人生のイベントについて考えました。ところで、「 貯金ってする必要があると思いますか？貯金の目的は一体なんでしょうか」近年、外国人の中にも家を購入する方が増えてきました。ローン返済は月々7～8万円程度と思って購入する方がいらっしゃるのですが、実際には税金がかかり、そのことに苦労している方もよく見かけます。ローンは「借りられる額」ではなく「返せる額」を基準に検討しましょう。また、借金は「ちょっとなら大丈夫」というと抜けられなくなります。気を付けてください。

協力：浜松信用金庫様　for your smile

青年クラス

学齢期を超えた16～20歳を対象とした教室です。毎週土曜日の1:30pm~4:00pmに南部協働センターで開催しています。

浜松で生活するために必要な情報や知識、日本語を学ぶことを目的に授業テーマを設定しています。

11月のテーマは「日本での仕事について考えよう！」将来的に日本で働くことについて勉強しました。今回は『**GLOBAL WORKイオン市野店（株式会社アダストリア様）**にご協力いただいて「接客・コーディネート」について学びました。GLOBAL WORKさんはアパレルブランドで紳士、婦人、子供、雑貨など幅広い販売を展開されています。11月21日に行った活動は、

1. 自己紹介
2. 店内にどんな商品があるか探そう！
3. ブランドイメージ、ブランドロゴについて考えよう。
4. 接客用語・マナーの練習
5. 接客ロールプレイ
6. トルソーへのコーディネート体験

盛りだくさんの内容でしたが、とても良い経験となりました。

ハロハロ教室

ハロハロ日本語クラスは土曜日の13:30～15:30に南部協働センターで行っています。（小学校～中学の年齢）来日したばかりのまだ日本の学校に慣れていない子ども達のクラスです。今年度は33回実施し、参加者の延べ人数は1088名となりました。2017年度の成果は以下です。

①「居場所・相談場所」としての役割を提供できた。特に初期適応クラスの生徒に多いことですが、小中学校内では無口な生徒がハロハロ教室では活き活きとしている。という話を学校支援員の方から聞いています。また、中学校を不登校になっていた生徒も、ハロハロ教室やその他のFNの教室に通い、高校に進学することができました。相談場所としても、浜松市内のフィリピンの皆さんに認知されてきており、ハロハロ教室に来て、相談を持ちかけることが多くなっています。土曜日だけでは対応できず、曜日や時間を問わずSNSや電話、メールを使いできる限り相談に対応しました。

②「母語保持の場」母語話者同士が集まる場であることから、生徒たちにとって母語を話す機会を提供できている。その成果の一つとして、2016年度ハロハロ教室を卒業していった生徒2名が2017年度の寄り添いクラスのボランティアとして参加してくれました。

＜面接・作文クラス＞

2017年10月～2018年3月まで高校受験に向けた「面接・作文クラス」を行いました。写真は「模擬面接試験」を行った時のものです。元教員の方に試験官をお願いしました。面接練習のために、一生懸命暗記し、模擬面接に挑みました。受験については多くの生徒が志望校に入ることができ、4月から新しい生活をスタートさせています。

定住外国人の生活と雇用に関する調査報告会

フィリピノナガイサでは29年度、調査を行いました。ひとつは浜松市に所在地のある企業311社当日に対して「外国人の雇用について求める人材像や日本語力を問うもの」、もうひとつは定住フィリピン人に対して「求める仕事や自身の日本語力、来日前の仕事など」を聞きました。この報告会を3月10日に行い、多くの方々に関心をもってご参加いただきました

この調査結果につきまして、ご質問のある方は、当法人までお問い合わせください。

フィリピノナガイサ団体賛助会員様のご紹介（50音順）

・AT-ユニバーサルドライビングアカデミー　様
・株式会社東海道シグマ　様
・株式会社フレアー　様
・行政書士 平本良一事務所　様
・JEN'S Grocery and Snacks　様
・社会福祉法人天竜厚生会　様
・西濃運輸株式会社　様
・浜松綜合法律事務所 弁護士 高貝亮　様
・有限会社伸栄総合サービス　様
・ユービーサポート株式会社　様

団体賛助会員の皆様についてはフィリピノナガイサホームページでもご案内しています。http://filipinonagkaisa.org/

フィリピノナガイサ個人会員数　105人
フィリピノナガイサ団体賛助会員数　11社

フィリピノナガイサ　スタッフ

理事長　：　☆中村　グレイス
副理事長：　☆松本　義一
　　☆高井　マリ

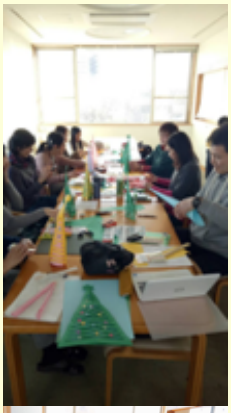
理事　：　☆白方　ジョイ
　　☆半場　和美
　　☆平原　エテル
　　☆吉田　佐織

スタッフ：　☆小粥　エリザベス
　　☆杉山　ダーリン
　　☆鈴木　エバ
　　☆田中　寛美
　　☆中村　ななん

監　事　：　税理士法人黎明祖父江会計事務所
　　☆湊　健一郎

「タガログ語教室」

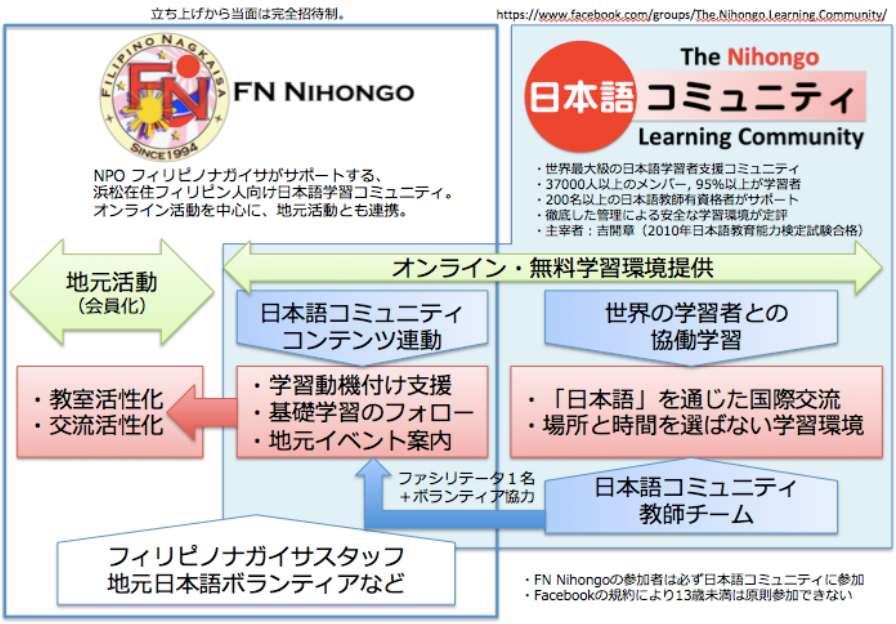
タガログ語教室ではフィリピンの文化紹介と言葉の両方を学べます。今年度は「フィリピンのクリスマスは何をするの？＆タガログ語を使ったカード制作」「フィリピン旅行でおすすめの観光地＆観光で使うタガログ語」「フィリピンの学校はどんなところ？＆学校で使うタガログ語や遊び」「フィリピン南方地方の料理＆タガログ語」を学びました。少人数参加の良さを活かして、いずれの回もアットホームな学びと体験になりました。



FM
Haro 76.1 amizade Hamamatsu (AMI-HAMA)　6:00pm~7:00pm

この番組は週ごとにいろいろな国が担当しています。**毎月第1日曜日**はフィリピノナガイサによるオンエア。フィリピンの文化や歌を日本語とタガログ語で紹介しています。

Facebook上での無料学習環境構築と、地元活動の活性化



＜FN NIHONGO＞

日本語学習のセルフスタディを促進するために、「日本語コミュニティ」と連携し、フィリピノナガイサ日本語コミュニティ（以下 FN N）を立ち上げました。「日本語コミュニティ」は世界最大級の日本語学習支援コミュニティとして37,000人以上のメンバーが参加しています。今後、「日本語コミュニティ」と「FN N」を活用した取り組みを行っていきます。

←「日本語コミュニティ」と「FN N」の関係図。